

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和2年度第5回B部会		
事務局(担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和2年11月24日(火) 午後7時00分から午後8時30分		
開催場所	ウェブ会議システムにより開催 (傍聴場所:川西市役所 4階 庁議室)		
出席者	委員	田中晃代、延命寺陽子、金剛丸朋子、中村佳子、山澤剛 田中真優、吉尾豊	
	その他		
	事務局	総合政策部参画協働課 副部長兼課長、課長補佐、 同課主任2名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由			
会議次第	<p style="margin-left: 40px;">1 開 会</p> <p style="margin-left: 40px;">2 議 事</p> <p style="margin-left: 80px;">B部会のテーマ</p> <p style="margin-left: 80px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」</p> <p style="margin-left: 40px;">3 閉 会</p>		

19:00～

1 開 会

2 議 事

B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

○田中部会長

- ・ 本日は、主に2点議論していく。一つは、11月14日に開催されたキセラカフェでトリカワカードを一般の方にプレイしていただいたので、その振り返りを行う。もう一つは、12月全体会へ向けたまとめである。

<11月14日(土)に開催されたキセラカフェにて訪れた方がトリカワカードをプレイしている様子を撮影した映像記録を確認>

○田中部会長

- ・ 貴重な資料だと思う。こういった動画を集めて、配信することも面白い。
- ・ 屋外でワイワイやることもキーポイントだ。
- ・ 参加された委員から当日の様子や感想を報告いただきたい。

○参加した委員

- ・ キセラカフェに来ていた人、キセラカフェのコンサル会社の方などトリカワカードを全く知らない人で実際に遊んでみた。
- ・ カードが飛ばないように、配付するカードをクリアファイルに入れて使用した。
- ・ 細かな説明などしなくとも意外に沢山の意見が出て来て驚いた。
- ・ 硬いテーマを選んでしまい回答も真面目な硬いものになってしまった。堀田委員の言うように市民の身近なお悩みを意識することが大切だと思う。
- ・ カケルカードの使い方が難しいとの意見があった。動詞縛りであること、配付されたカードの組み合わせによっては、かなり使いづらい様子であった。

- ・ カード引き直しやポイント制の導入など、ゲーム性がもっとあればよかった。
- ・ リソースカードは、配り直さない方がよいとの意見があった。難しいからこそ知恵を絞って何かひねり出そうとするので。
- ・ リソースカードとカケルカードの相性が悪いものが目立った。例えば、「新名神高速道路」と「こわしてみる」など、そこで思考停止してしまう。
- ・ カケルカードは使うか使わないかを選択できる自由度があっても良い。
- ・ 人数や状況によるが、一定のルール説明は必要だ。
- ・ お悩みカードにもリソースカードにもまちのことが書かれているので、自然とまちのことを考えていた。
- ・ 中々アイデアが出ないだろうと考えていたが、意外に面白いアイデアが出てきて、こちらも新しい発見があった。

○その他の委員

- ・ カケルカードは、引いた人自身が使うのではなく、他の人の意見に対して使う方が面白い。
- ・ 「カケル」という言葉が、使う人に「何か面白いことや何か大きな発想を出さないといけない」といった印象を与えているように思う。感覚的に難しいものだと感じてしまっているのではないかな。
- ・ 他の人の意見に対して拍手を送る、ポイント制を与えるといった要素も良い。

○田中部会長

- ・ 「カケルカードの使い方」と「お悩みカードの内容」、この2つが今回クローズアップされた。
- ・ 「広げ方」については何かないか。
<トリカワカードの広め方について>

○委員の意見

- ・ カードをするために人を集めるというのはイメージがわからない。人が集まっているイベントや場所に行って、そこでやってみる方がいい。自治会のオリエンテーションやお祭りにブースを出すなど。問題は誰が行くかである、行くためには、時間もお金も必要である。
- ・ 大なり小なり、どこかで誰かがやり続けないと勝手には広がっていかない。

- ・ アマガサキ・トゥ・ザ・フューチャー・2 は、学校の授業に取り入れられたところから、広がったようである。その後、商業施設で大会が開かれるなどの賑わいを見せている。
- ・ 川西らしい広め方があっても良い。屋外でこたつや机を囲んでみんなでワイワイしながら楽しむのは斬新だ。キセラの公園で広めるのも面白い。
- ・ カードゲームは動きが小さくて遠くからでは何をやっているかわからない。状況次第だが、屋外でただ漠然とカードゲームしていても難しいと思う。
- ・ ボードゲームを沢山置いているお店においてもらいモニタリングしてもらうのはどうだろう。
- ・ 川西ボードゲーム会という団体があるので、協力をお願いして持ち込んでみるのも面白そうである。ボードゲームを扱う大学のサークルなどをお願いして、SNSで拡散してもらうのもいい。
- ・ 川西能勢口駅からJR川西池田駅間の歩道橋などで、目立つように即席バーカウンターなどを設置してプレイしてみる。手続きは必要だが、ゲリラ的なやり方もよい。
- ・ 藤ノ木さんかく広場はキッチンカーが来るので、お願いしてさせてもらうのはどうだろうか。
- ・ モザイクボックスと川西能勢口間のペDESTリアンデッキもいいと思う。
- ・ ネット豊田のリージョナルカーというイベントに活用できる車を借りることができるらしい。
- ・ 屋外のにぎやかなパブリックスペースでやるのがポイントのようだ。
- ・ 人を引き込むためにそんなに考え込まなくていい。人が集まって何かをやっていれば、人目を引く。まずはそれでいいと思う。
- ・ 市役所の1階スペースはどうだろうか。逆の発想だが、ちゃんとしている所でやっていることによる安心感がある。

< 全体会に向けた取りまとめ >

○事務局

- ・ お示ししている提言書案は、一例であり、必ずしもこの形にこだわる必要はない。9月の全体会で提示した要素(テーマの説明、検討事項、結論、資料)は整理いただいて12月の全体会で報告いただきたい。

- ・ 12月時点で完成している必要はないので、アウトラインを整理していただいて、細かな点は口頭で説明いただいても構わない。

< 委員の意見 >

- ・ キセラカフェの部分は、参加された委員にお願いしたい。
- ・ 全体的なまとめは、部会長でまとめてみる。
- ・ 行動指針は、トリカワカードの主催者(団体側)の教科書のような位置づけでよいと思う。
また、カケルカードに落とし込むこともできる。

3 閉会

- ・ 次回の全体会は、12月15日(火)の19時から開催予定。